

Midori Information



✓ 巻頭言

熊本県 農林水産部
農村振興局
技術管理課長
宮川 和幸

Information

Topics

- ✓ **第9回インフラメンテナンス大賞
農林水産省 農林水産大臣賞受賞**
- 令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修会を開催
- 「くまもと水土里 GIS 活用事例発表会」を開催
- 「水土里ネット熊本パンフレット」が完成しました
- 「水土里ネット熊本ポスター」が完成しました
- ✓ **高野県議会議長を表敬**
- ✓ **木村熊本県知事を表敬**
- 本会広報誌「DAICHI Vol.80」新年号の発刊
- **農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会(キャラバン)**

Event

- ✓ **幸野溝完成 320 周年記念式典**

「みどり通信」は、熊本県農村振興局
や市区町村、水土里ネットなどの職
員の皆さんに、農業・農村に関する
様々な情報をお届けするものです。

Magazine

- 「進藤金日子メールマガジン」VOL.103

Since 2013~

農業経営の多様化やスマート農業の進展、混住化、頻発化・激甚化する自然災害への対応等により、
土地改良区に求められる役割も変化しています。

巻頭言



熊本県農林水産部農村振興局
技術管理課
課長 宮川 和幸

令

和7年度も残すところ1か月と10日程度となりました。

土地改良区並びに土地改良事業団体連合会の皆様におかれましては、年度末に向けた清算や次年度に向けた準備等でご多忙のことと思います。そのような中でも、引き続き、本県農業農村整備事業の推進や農村振興にご理解とご協力をお願いします。

昨年、国では、農業水利施設の老朽化や農村人口の減少、気候変動による災害リスクが増大する中において、改正後の食料・農業・農村基本法の方向性に即した農業生産の基盤の整備及び保全を的確に実施できるよう、4月に土地改良法が改正されるなど、我々にとって大きな動きがありました。また、9月には、農業構造転換集中対策期間で実施する具体的な対策を位置づけ

た、新たな土地改良長期計画が策定されました。

土

地改良施設は、地域農業の基盤であると同時に、地域住民の生活を支える公共的なインフラでもあります。その適

切な維持管理と更新は、農業生産の安定だけでなく、地域の安全・安心にも直結します。施設の老朽化が進む中、限られた財源と人員で効率的かつ計画的に事業を進めることは容易ではありません。しかし、だからこそ、現場を熟知した土地改良区の皆様の知恵と経験が不可欠で、その継承が鍵となります。

また、農業経営の多様化やスマート農業の進展、混住化、頻発化・激甚化する自然災害への対応等により、土地改良区に求められる役割も変化しています。従来の施設管理にとどまらず、地域の担い手支援や農地利用調整、さらには地域振興に関わる取り組みまで、活動の幅は広がっています。こうした新たなニーズに応えるためには、土地改良区と市町村、連合会、そして県や関係機関がこれまで以上に連携し、情

報を共有しながら課題解決に向けて取り組むことが求められます。

二

の優良事例として、熊本平野南部土地改良区では、本年度から本格運用を開始した“くまもと水土里GIS”

を活用し、施設の日常点検や突発事故の記録、機能診断結果等の情報を共通のプラットフォームのもと「見える化」し、土地改良事業団体連合会や県とは、アプリを活用し各種情報の共有・蓄積を図り、土地改良施設の効率的な保全をはじめとしています。また、この取り組みに関しては、国土交通省等が実施する第9回インフラメンテナンズ大賞において県内初となる農林水産大臣賞に選ばれ、1月20日に首相官邸大ホールで開催された表彰式に土地改良区、連合会、県が連携して出席してきました。

土

地改良区の皆さんの現場での丁寧な対応、地域との信頼関係の構築、そして専門性の向上に向けた不断の努力の結果が今回の表彰に繋がったと思います。今後、他の土地改良区への横展開を目指したいと思えます。

結

びに、県では、国の経済対策を積極的に活用し、災害に強い産地形成や生産基盤の強化などを進めるとともに、しっかりと担い手の確保・育成を図ることで、更なる“稼げる農林畜水産業”の実現に向け、1月15日に臨時議会が開催され補正予算が議決されました。農業農村整備関係予算も対前年度比154%と大幅に増えており、今後、各種施策を実施するために計画的な執行に努めていきます。

私たちは、これからも皆様とともに、地域農業の発展と土地改良区の健全な運営に向けて歩みを進めていきたいと考えています。変化の時代だからこそ、互いに支え合い、知恵を出し合いながら、より良い地域づくりに取り組んでまいりましょう。

2026年2月 吉日

熊本県 農林水産部

農村振興局 技術管理課

課長 宮川 和幸





農林水産省 農林水産大臣賞受賞

「第9回 インフラメンテナンス大賞（メンテナンスを支える活動部門）」

熊本平野南部土地改良区・熊本県農林水産部・

熊本県土地改良事業団体連合会



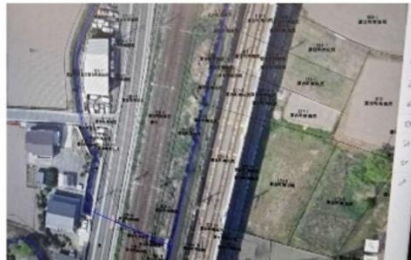
熊本平野南部土地改良区は、令和5年度までに4つの土地改良区が合併し、**県内最大規模の組織**（受益面積A＝2,664 ha）となりました。農業水利施設も多数管理しており、その多くは耐用年数を迎え、漏水や油漏れ等の突発事故が発生。さらに、施設の日常点検は合併前の組織毎の様式で実施しており、統一した点検記録が蓄積されておらず課題となっていました。このため、令和7年度に県全体で導入した“くまもと水土里GIS”を活用し、**施設の日常点検や突発事故の記録、機能診断結果等情報を共通のプラットフォームのもとで「見える化」**することで、効率的な施設の保全管理に努めた取り組みが、この度評価されました。

くまもと水土里GISの特徴



▲事務所からリアルタイムで確認

くまもと水土里GISのソフトウェア



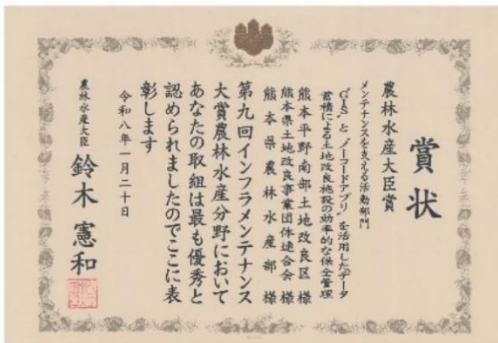
▲くまもと水土里GIS画面



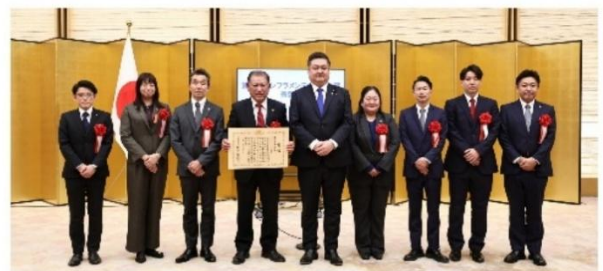
▲アプリを使った施設点検



「首相官邸」令和8年1月20日
第9回インフラメンテナンス大賞
表彰式



農林水産大臣賞 賞状



受賞時 記念撮影



首相官邸にて「表彰状授与」
熊本平野南部土地改良区 宮原理事長

令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修会を開催

令和8年1月23日（金）、水土里ネット熊本3階研修室において、水土里ネット熊本主催の「土地改良区運営基盤強化推進研修会」を開催しました。本研修会には、県内の土地改良区及び土地改良区連合の役職員を中心に約50名、39団体が参加されました。

本研修会は農業水利施設の適切な保全体制の構築に向け、土地改良区の運営基盤強化や地域関係者との連携強化をテーマに全土連や九州農政局より講師を招き、開催しました。



▲開催状況



▲開催状況

全土連の飯田支援部長からは、土地改良区の現状と課題についてや土地改良区の業務及び運営についての講義を行っていただき、土地改良区の運営基盤の強化へとつながるお話がありました。

参加者からは「全国的に共通した課題を抱えている状況がよく理解できた」「賦課金の未納に関する件について参考になった」「合併への意欲が増した」との意見がありました。

- Program -

開会挨拶

講義

- | | | |
|--|-------|--|
| (1) 「土地改良区の現状と課題について」
(全国土地改良事業団体連合会 飯田支援部長) | | 組織体制強化や賦課金の未納、土地改良施設の更新整備などに係る課題に対応策などについて |
| (2) 「土地改良区の業務及び運営について」
(全国土地改良事業団体連合会 飯田支援部長) | | 土地改良区の業務や役職員・監事の職責の他、運営する上で遵守すべき法令などについて |
| (3) 「経営診断（収支分析、施設更新積立）について」
(全国土地改良事業団体連合会 金内支援部次長) | | 収支分析や更新積立支援の考え方に係る事例を踏まえた説明などについて |
| (4) 「地域関係者との連携について（水土里ビジョン）」
(九州農政局 農村振興部 土地改良管理課 今村組織強化指導係長) | | 水土里ビジョンの必要性や地域計画との関係、水土里ビジョンの策定手順などについて |

閉会

「くまもと水土里GIS活用事例発表会」を開催



水土里GISアイコン▲

令和8年1月28日（水）、水土里ネット熊本3階研修室において、熊本県水土里情報活用協議会主催の「くまもと水土里GIS活用事例発表会」を開催しました。

本発表会には、県内の土地改良区、市町村、熊本県等の担当者を中心に、約90名が参加され、熊本市、宇城市、熊本平野南部土地改良区、熊本県、JAかみましきから、それぞれ活用事例の発表がありました。



▲開催状況



▲熊本市北東部基盤整備課 井村主幹

熊本市北東部基盤整備課の井村主幹からは、「くまもと水土里GIS」の調査アプリである「Survey123」を活用した交付金事業の現地確認について、大規模災害発生時の被災状況把握など**災害時の業務効率化**につながった事例をご発表いただきました。

参加者からは「発表内容を聞いて利用のハードルが思っていたより低いと感じた」「自分達でも活用していきたい」との意見がありました。

- Program -

開 会

くまもと水土里GIS活用事例発表会

- | | | |
|---|-------|---|
| (1) 「Surveyを活用した現地確認」
(熊本市北東部農業振興センター 基盤整備課 井村技術主幹兼主査) | | 災害・多面的機能支払交付金などの現地確認における活用事例 |
| (2) 「宇城市におけるシステム使用例」
(宇城市 農政課 森山課長補佐、松藤主査) | | 機構集積協力金の地図作成や災害調査などへの活用事例 |
| (3) 「土地改良施設の維持管理について (ArcGIS (Survey123) 活用事例)」
(熊本平野南部土地改良区 久我事務局長) | | 施設の日常管理・要望確認などの調査報告書、用排水機場の運転日誌の作成における活用事例 |
| (4) 「熊本県庁での事例と今後の活用見込み」
(熊本県 技術管理課 楳木主任技師) | | ダム水位管理、鳥獣の捕獲確認、災害発生直後の被災状況調査などにおける活用事例 |
| (5) 「くまもと水土里GISを活用したJAかみましきの取り組み」
(上益城農業協同組合 営農管理課 町北様)
(熊本県農業公社 業務第一課 佐方様) | | 農地バンク契約に係る図面作成や担い手への農地集約、ドローン防除区域特定のための図面作成への活用事例 |

閉 会

「水土里ネット熊本パンフレット」が完成しました

Vol.14
2026

MIDORINET KUMAMOTO

熊本県土地改良事業団体連合会

「農業を下支えする、人と人のつながり」

私たち水土里ネット熊本は、子どもたちの明るい未来を築くため、職員一人ひとりがこの思いを胸にし、農業・農村を元気にする様々な取り組みをおこなっています。これからも私たちの活動に是非ご期待ください。

Midorinet are fabulous!

～水土里ネットは最高だ！～

熊本の農業農村を
知る水土里ネット

KUMAMOTO
UKI
KAMIMASHIKI
TAMANA
KAMOTO
KIKUCHI
ASO
YATSUSHIRO
ASHIKITA
KUMA
AMAKUSA



熊本県土地改良事業団体連合会
水土里ネット熊本 ～農村に、寄りあひ～



住所：熊本県熊本市北区糠田境内3丁目15番1号
TEL：096-348-8801 FAX：096-343-8011
URL：https://www.higosanae.or.jp/

本会では職員一人ひとりが自主性・自立性の元、**会員あつての組織であることへの自覚と土地改良事業のプロフェッショナルとしてのプライド**を持ち、効率的な業務推進と、人（財）育成を行い、迅速な支援に努めています。

このパンフレットではその**本会の本年度の成果**をまとめたものとなっています。

本会のHPからご覧いただけます

URL：<https://x.gd/AVe3n>



二次元コード
はこちら

本会の成果を1冊にまとめたパンフレットです。
皆さま、ぜひご覧ください。

高野県議会議長を表彰



後列左より 岡村総括監事、本田理事、金田理事、藤本理事、古庄理事、森本理事、西村理事、宮原監事、酒瀬川理事
前列左より 津田理事、米谷副会長（女性の会）、森下会長（女性の会）、坂田副会長、高野議長、元松副会長、久保田常務理事、草村監事、岡田副会長（女性の会）

「土地改良は農業の動脈」 高野議長へ令和7年度の成果を報告



水
土里ネット熊本は、令和8年2月4日（水）高野県議会議長を訪ね、令和7年度の成果報告や水土里ネットPRポスターを披露した。



高野議長は、農林水産委員長時代の経験に触れ、「土地改良事業は生産者を支える『動脈』であり、ここがしっかりしなければ良い営農はできない」と強調。昨年の豪雨災害からの早期復旧における本会の貢献に感謝の意を示しました。また、「老朽化施設の改修など課題は山積している。予算の確保を含め、生産者が安心して営農できるよう、皆様と一丸となって国・県へ働きかけていきたい」と述べ、農業基盤整備の重要性を再確認しました。

坂田副会長
一行を代表し、坂田副会長は日頃の農業・農村振興への尽力に対し謝意を述べました。「昨年の大雨被害に際し、高野議長をはじめ県議会の皆様が迅速な対応と十分な予算措置を講じてくださったことに心から感謝申し上げます」と発言。また、令和7年度の補正予算において、国の伸び率を大きく上回る県独自の予算を確保できたことを高く評価し、「今後も防災・減災対策、国土強靱化に向けて精一杯努めてまいります」と、引き続きの指導と支援を求めました。

元松副会長
中山間地域の基盤整備と担い手確保を
元松副会長は、現場の切実な課題として担い手不足を挙げ、「将来、若い人が戻ってこれるような農地を準備することが私たちの使命」と発言。特に県内の多くを占める中山間地域において、水田の大区画化だけでなく、畑地を含めた小規模な区画整理の重要性を指摘し、「各地域の特性に合わせた柔軟な制度化と支援をお願いしたい」と強く要望しました。

岡村総括監事
食料安全保障と農家の意欲向上
岡村総括監事は、米価や物価高騰の影響を受ける生産者の立場から発言。「食料安全保障の重要性が叫ばれる中、農家が前を向いて取り組めるような施策を打ち出してほしい」と述べ、関係機関へ農業の重要性をさらに発信していくよう求めました。



森下会長
女性の目線で地域づくりに貢献
森下会長は、昨年11月に開催された「男女共同参画推進大会inくまもと」の成功を報告。「全国から好評をいただき、女性の活躍の場を広げることができた。これからも地域と農業の未来のため、前向きに元気に活動していきたい」と決意を述べ、今後の支援を呼びかけました。



森下会長は、昨年11月に開催された「男女共同参画推進大会inくまもと」の成功を報告。「全国から好評をいただき、女性の活躍の場を広げることができた。これからも地域と農業の未来のため、前向きに元気に活動していきたい」と決意を述べ、今後の支援を呼びかけました。



木村熊本県知事を表敬



後列左より 木村知事、坂田副会長、元松副会長、藤本理事、草村監事、阿蘇地区の電力負担と地下水涵養への取り組み、阿蘇地域の莫大なポンプ電気料金の負担軽減を求めるとともに、独自に取り組む地下水涵養（湛水事業）の実験を報告。「水のみやこ・熊本の地下水を守るため、農家も努力して」と求めました。

祖先から受け継いだ尊い農地を、子々孫々へつなぐ使命



表敬に赴いたのは、坂田副会長、元松副会長はじめ役員14名及び、くまもと水土里ネット女性の役員3名。

水

土里ネット熊本は、令和8年2月4日（水）木村熊本県知事、永田農村振興局長はじめ7名の熊本県農林水産部幹部を訪ね、令和7年度の成果報告や水土里ネットPRポスターを披露した。



木村知事 現場主義を貫き、 創造的復興を推進

木村知事は、本会が発災直後からチームを組み、自治体へ職員を派遣した支援活動に敬意を表しました。「農業水利施設の復旧を、単なる復旧ではなく『創造的復興』の中核に据えたい」と述べ、改正された食料・農業・農村基本法に基づき、保全と整備を両立させる考えを示しました。また、「尊（とうとぶ）」という一文字を挙げ、「脈々と受け継がれてきた農地を次世代にバトンタッチすることが我々の使命。稼げる農業と、瑞穂の国の生業を守るため、全庁的に支えていく」と力強く応じました。



坂田副会長 迅速な災害復旧支援に心からの謝意

一行を代表し、坂田副会長は、昨年8月の豪雨災害における知事の迅速な対応に深く感謝を述べました。「知事自ら被災地を視察し、八代平野のトマト農家への機械補助や、い草農家への手厚い予算措置を講じていただいた。被災農家にとって大きな励みとなっている」と発言。また、県の農業農村整備予算が国の伸び率を大きく上回る15.4%を確保できたことを高く評価し、引き続きの指導を求めました。



元松副会長 排水機場の「創造的復興」と機能強化

被災した排水機場の復旧について、「現状復旧では将来の激甚化する災害に対応できない」と指摘。一歩進んだ「創造的復興」を掲げ、将来の安心に繋がる排水能力の向上や再整備への力強い支援を要望しました。



藤本理事 土地改良区の財政基盤と賦課金負担の軽減

施設の更新後に課題となる維持管理費について言及。「土地改良区の運営に対する財政的支援の知恵を貸してほしい」と述べ、受益者負担の軽減に向けた県独自の支援や施策の必要性を訴えました。



森本理事 中山間地域における人口減少と農業継続の危機

人吉球磨地域の深刻な人口減少と過疎化の現状を報告。「農業が主産業の地域にとって、農家負担の増大は死活問題。地域を支える農業を維持するためにも、県費の上乗せなど手厚い救済措置をお願いしたい」と提言しました。



本田理事 阿蘇地域の電力負担と地下水涵養への取り組み

阿蘇地域の莫大なポンプ電気料金の負担軽減を求めるとともに、独自に取り組む地下水涵養（湛水事業）の実験を報告。「水のみやこ・熊本の地下水を守るため、農家も努力して」と求めました。



草村監事 改正基本法に基づく中山間施策の強化

改正基本法が大区画化に偏っている」と指摘。「県内の4分の3が中山間地である熊本こそ、国に先じた独自の施策と予算の両面で、中山間地域が生き残れる『熊本モデル』を打ち出してほしい」と発信しました。

本会広報誌「DAICHI VOL.80」新年号を発刊しました。

広報誌「DAICHI」は、新年号と新年度号の年2回発刊しており、**会内外の行事や取り組み活動**などを掲載しております。

会員及び関係者の皆様には、随時配布しておりますのでぜひご一読ください。



農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会(キャラバン)



▲第一部の様子

令和8年2月18日(水)に水前寺共済会館グレースにて、**農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会(キャラバン)**が行われました。

第一部の予算説明では、九州農政局より、**令和8年度予算概算決定の概要**について説明が行われ、その後、質疑応答が行われました。

第二部の意見交換会では、3市町(氷川町・山都町・玉名市)の首長ならびに、2土地改良区(山鹿土地改良区・高田堰掛土地改良区)の理事長より、主に**災害復旧対策や予算の確保、世界かんがい施設遺産への対応、広報・啓発活動の推進**等について意見が述べられました。

それぞれの立場から率直な提案や要望が示され、九州農政局との間で大変有意義な意見交換が行われました。



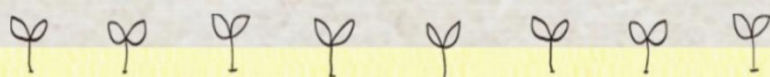
▲第二部の様子

また、**本会の久保田常務理事**からは、令和7年度補正予算に関して、全国の伸び率を上回る熊本県への割り当てにご配慮いただいたことへの謝意が述べられました。

その上で、会員支援の立場から、**水土里情報GISの活用等を踏まえた今後の災害復旧制度の在り方と支援の充実**について提言がなされるとともに、排水機場を例に**土地改良事業の公益性の高さ**を踏まえた当初予算の十分な確保の必要性、さらに大区画化の推進のみならず中山間地域におけるきめ細やかな区画拡大への後押しの重要性について意見が述べられました。



▲謝意を述べる久保田常務理事



幸野溝完成320周年記念式典

令和8年2月13日（金）に湯前町農村環境改善センターにて、幸野溝土地改良区主催の幸野溝完成320周年記念式典が開催されました。

本式典は、幸野溝土地改良区副理事長の岩野邦治氏の開会の言葉から始まり、幸野溝土地改良区理事長富田道孝氏の式辞が述べられました。

来賓祝辞には高橋家第14代当主の高橋修一氏や、熊本県議会議員副議長の緒方勇二氏、熊本県知事代理として熊本県農林水産部農村振興局の永田稔氏、熊本県土地改良事業団体連合会会長の竹崎一成氏のご登壇されました。



▲会場の様子



開会のことば
幸野溝土地改良区副理事長
岩野 邦治氏



式辞
幸野溝土地改良区理事長
富田 道孝氏



来賓祝辞
高橋家第14代当主
高橋 修一氏



来賓祝辞
熊本県議会議員副議長
緒方 勇二氏



来賓祝辞
熊本県知事代理
熊本県農林水産部農村振興局長
永田 稔氏



来賓祝辞
熊本県土地改良事業団体
連合会会長
竹崎 一成氏



閉会の言葉
幸野溝土地改良区総括監事
林田 良成氏



▲会場の様子

式典の後、記念上映と記念講演が行われました。

記念上演では、あさぎり町立岡原小学校4年生による「幸野溝劇・高橋政重の歌」が発表され、幸野溝の歴史を劇や歌で表現しました。

記念講演では、「アフガニスタンに「命の水」を～中村哲医師の歩いた道と志～」というテーマで、NGOペシャワール会理事・山田堰土地改良区元理事長である徳永哲也氏のご登壇されました。



▲あさぎり町立岡原小学校4年生による記念上映



▲徳永哲也氏の記念講演

リンク一覧

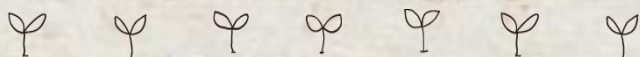


- 水土里ネット熊本平野南部
<https://kumamotoheiya.com/>
- 水土里ネット熊本市西南ホームページ
<http://midorinet-km.jp/>
- 水土里ネット小川フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/小川町土地改良区水土里ネット-おがわ-979064688835896/>
- 水土里ネット美里ホームページ
<http://misato-midori.net/>
- 水土里ネット玉名平野ホームページ
<http://www.tamana-heiya.jp/>
- 水土里ネットおおきくホームページ
<http://ookiku.jp/>

県内水土里ネットホームページ、ブログ、フェイスブック一覧や最新のブログ等の更新状況をご紹介します。



- 水土里ネット一の宮ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~itidokai/top.html>
- 水土里ネット阿蘇ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~aso-toti/>
- 水土里ネット八代平野北部ホームページ
<http://yatsushiro-heiya.jp/>
- 水土里ネット百太郎溝フェイスブックページ
水土里ネット百太郎溝（百太郎溝土地改良区） | Yamae-mura Kuma-gun Kumamoto | Facebook
- 水土里ネット幸野溝ホームページ
<http://www.kounomizo.jp/>



その他

「みどり通信」で紹介してほしい
イベントやホームページ、ブログ
などがあれば、ぜひ本会まで気軽
にご連絡ください。
配信先のメールアドレス変更等
は、下記まで宜しくお願いします。

水と里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
総務企画課 企画広報係
みどり通信担当者

Tel : 096-348-8801

Fax : 096-348-8011

Mail : toyozumima@higosanae.or.jp

HP : <https://www.higosanae.or.jp>

HPの2次元コードはこちら



Snap Shot

